懇談内容について

「子供のより良い学びを支えるための，地域の実情に合った柔軟できめ細かな支援について」

1．働き方改革について

（1）勤務時間縮減の現状と今後の方向性および，行事の精選を始めとする業務量の削減と併せた取組の推進について。

（2）留守番電話の切り替えによる教育委員会や各校の管理職の業務の負担について。

（3）教員の勤務時間管理の方法について。

・学校によっては，各教職員の勤務状況が一覧表で出される等，教職員の心理的な負担（ハラスメント）になりつつあるのではという不安がある。

（4）その他，働き方改革について。

2．人材の確保と育成，配置について

（1）休職補充が遅滞なく行われるよう，未補充の現状と今後，市町教委との連携について。

（2）岐阜市への異動や岐阜市を本拠地とする希望者の現状について。

・岐阜市の講師希望者の増加について。

・土曜授業の実施等による各地域の勤務条件の違いが異動に影響を与えていないか。

（3）各小学校への英語免許保有者の配置について。

（4）授業の充実のための小学校への地域英語講師の配置について。

（5）学級の定員が増える小学校4年生，中学校2年生への加配措置について。

（6）今後のスクール・サポート・スタッフの配置見通しについて。

（7）教科のバランスを考えた教員の配置について

3．特別支援教育について

（1）特別支援学級や通級指導教室の新規開設の方向性について。

（2）特別支援学級担任や通級指導教室担当の負担の軽減について（支援員の配置，担当児童生徒数の偏りの調整，特別支援コーディネーターとの兼任，重度な障がいがある児童生徒の受け入れ体制の整備）。

4．教育環境の整備について

（1）校務支援システムの管内各市町の導入，更新の見通しについて